

# 一般質問

## 市政のいまを問う

この定例会では、9月7日から9日までの3日間で、16人が登壇し、37項目にわたり、市政全般についてたまたす一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目（発言順）

- 伊藤 幸弘 議員 ※1 刈谷市の水道水施設の安全確保について
- 渡邊 妙美 議員 ※1 笑顔輝き続けるまちづくりについて
- 鈴木 正人 議員 ※1 災害時医療救護について
- 星 雅春 議員 ※1 防災学習施設について
- 新井 健治 議員 ※1 児童生徒の心のケアについて
- 新井 健治 議員 ※1 市内巡回バス（公共交通連絡バス）の充実について
- 蜂須賀 賢一 議員 ※1 風致地区の抜本的保全について
- 上田 昌哉 議員 ※1 公園等の管理について
- 佐原 充泰 議員 ※1 刈谷市の人口動態と施策について
- 白土 美恵子 議員 ※1 農地について
- 山内 智彦 議員 ※1 自転車事故対策について
- 山内 智彦 議員 ※1 活気ある公園づくりについて
- 山内 智彦 議員 ※1 美恵子 議員 ※1 災害対策について
- 山内 智彦 議員 ※1 B型肝炎ワクチンについて
- 山内 智彦 議員 ※1 行政運営におけるの基本的な考え方について
- 山内 智彦 議員 ※1 「住民の福祉の増進」による内需拡大について
- 山内 智彦 議員 ※1 歴史博物館の方向性について
- 山内 智彦 議員 ※1 歴史博物館の白紙撤回について
- 山内 智彦 議員 ※1 「理科教育」の更なる向上について
- 山内 智彦 議員 ※1 地域活動と市の関わりについて
- 山内 智彦 議員 ※1 安全な自転車利用環境の整備について
- 山内 智彦 議員 ※1 長期休業における子どもの変化について
- 山内 智彦 議員 ※1 昌宏 議員 ※1 中小企業振興基本条例について
- 山内 智彦 議員 ※1 シモ子 議員 ※1 納税者の権利を守る税金徴収について
- 山内 智彦 議員 ※1 低所得者への市営住宅の新設について
- 山内 智彦 議員 ※1 子育てを守る保育の充実について
- 山内 智彦 議員 ※1 憲法9条擁護の市政の取り組みについて
- 山内 智彦 議員 ※1 防災対策について
- 山内 智彦 議員 ※1 上下水道設備の更新について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

要支援1・2の切り捨てだけでは財政抑圧効果が乏しいと、いわんばかりに、次のターゲットを要介護1・2と定める。国にこのことを許さないため、国に

**蜂須賀 信明 議員** (主な答弁者：都市政策部長) **逢妻川：水干川の桜並木整備を推進し、市民生活に安らぎと潤いを―連続性ある桜のみちとするため、未整備区間の整備を検討していく―**

**問** 逢妻川・水干川の堤防は「桜のみち」として位置づけられている。市民は毎年、桜の開花を楽しみにしているが整備の進捗状況はどうか。

**答** 総合運動公園を中心として、1.1kmの整備が完了している。幹線道路や鉄道により、分断されている未整備区間についても今後、整備を検討していく。

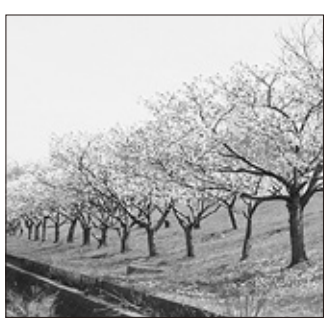
**問** 第2次緑の基本計画について、従前計画からの変更点は。 **答** 既存緑地の保全や民間施設等の緑化を重点に置いている。具体的には、杜森林の保全や緑化を義務付ける緑化地域制度の導入検討などを新たな施策として盛り込んでいる。

**問** 都市の緑地率を高める具 **上田 昌哉 議員** (主な答弁者：産業環境部長) **市街化調整区域の農地の現状について―農業振興地域における優良な農地の保全を推進―**

**問** 市街化調整区域内の農地は、いわゆる青地と白地とに分けられるが、それぞれの面積は平成22年度と平成27年度でどのように推移しているのか。 **答** 平成22年度の農用地区域内の農地いわゆる青地の面積は1,104ha、農用地区域外の農地いわゆる白地の面積は326haであり、平成27年度の青地の面積は1,092ha、白地の面積は319haである。

**問** 5年間で青地が12ha、白地が7ha減っているが、何に農地転用されたのか。 **答** 昨年度、いわゆる青地において農地転用されたものとして、農業住宅や分家住宅、コンビニエンスストアなどの商業施設、診療所がある。白地においてもほぼ同様となっている。

**問** 今後の刈谷の農地についてどのように考えているか。 **答** 農地は農業生産にとって基礎的な資源と考えている。このため農業生産基盤整備を推進し、農地の利用集積を図るなど、農業振興地域における優良な農地の保全を推進していきたい。



市民に親しまれている逢妻川の桜づつみ

**伊藤 幸弘 議員** (主な答弁者：水資源部長) **水道水を安定供給するためにリスク管理の徹底を―水道事業は安全で安心な水を安定的に供給することが使命―**

**問** 水道供給施設の老朽化及び耐震化への対応は。 **答** 水源浄水場及び3つの排水場は、平成20年度までに老朽度調査を実施しており、必要な改修等を随時実施している。また、配水池等の土木構造物は震度5強程度の耐震性を確保しており、管理棟等の建築構造物は耐震補強工事を完了している。今後は、耐震診断を順次実施し、必要な耐震対策を講じていく。

**問** 浄水場は洪水ハザードマップで浸水予想区域となっている。現在地に立地した理由は何か。 **答** 放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な事業実施と事業拡大の考えは。 **答** 児童クラブと子ども教室それぞれの特色を生かしながら十分な連携を図っていく。また、児童クラブは4年生までの受入を今年度を実施し、6年生までの受入については利用状況を参考に引き続き検討していく。子ども教室については、平成30年度を目処にすべての小学校において開設予定である。

**問** 保護者が求める保育のニーズはどのようなものか。 **答** 保護者が求める保育のニーズはどのようなものか。

**鈴木 正人 議員** (主な答弁者：福祉健康部長) **災害時に医療救護所が機能するために災害を想定した訓練を―医療救護所の開設訓練により、課題を抽出し、運営に反映していく―**

**問** 医療救護所は市内5カ所に開設されるというのだが、軽症患者を初めとして多くの負傷者が集まるのが予想されるため、5カ所では不足するのではないかという不安を感じるが、

**答** 医療救護所は市内5カ所に開設されるというのだが、軽症患者を初めとして多くの負傷者が集まるのが予想されるため、5カ所では不足するのではないかという不安を感じるが、

**白土 美恵子 議員** (主な答弁者：福祉健康部長) **B型肝炎のリスクから子どもを守るため、2歳児までの費用助成を―接種率や周辺市の状況を注視し、検討していく―**

**問** 本年10月よりB型肝炎ワクチンが定期接種化される。その対象者、接種方法、費用負担はどのようにしているか。 **答** 対象者は、平成28年4月1日以降に出生した1歳に至るまでの乳児。接種回数は3回で、1回目から27日以上の間隔で2回目を接種し、1回目から139日以上の間隔を置いて3回目を接種する。費用の自己負担はない。

**問** やむを得ぬ事情により、3回接種できず1歳を超えた場合の救済措置はあるか。 **答** やむを得ぬ事情により、3回接種できず1歳を超えた場合の救済措置はあるか。

**山内 智彦 議員** (主な答弁者：企画財政部長) **前例踏襲でなく行政運営の考え方を見直すことが重要では―必要に応じたメリハリのある対応をしていく―**

**問** 慢性的に駐車場が不足している総合運動公園などの駐車場を立体化することの検討は。 **答** 建設費及びランニングコストが高いこと、社会情勢の変化に伴い公共施設の再編等を行

**新井 健治 議員** (主な答弁者：長寿保険部長) **要介護軽度者（要介護2以下）の切り捨てを許さず国に提言を―国の諮問機関である社会保障審議会での議論を注視していく―**

**問** 平成29年3月末時点で要支援1・2の認定を受けている方は、認定有効期限までは、これまで同様サードサービスを利用することができ。また、有効期限後も総合事業による同様のサービスを利用することができる。

**問** 平成29年4月から介護予防通所・訪問介護など、要支援1・2の方が利用するサードサービスの一部が、市の実施する総合事業に移行される。要支援1・2の方が従前のサードサービスを利用できなくなるのではないかと危惧しているがどうか。 **答** 平成29年3月末時点で要支援1・2の認定を受けている方は、認定有効期限までは、これまで同様サードサービスを利用することができ。また、有効期限後も総合事業による同様のサービスを利用することができる。

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**星野 雅春 議員** (主な答弁者：教育部長) **心の病を持つ子どもたちが苦しむことのない社会や学校を―学校とスクールカウンセラーが1つのチームとして取り組む―**

**問** 子ども心の病について、先生等の周囲が理解を広げる必要があるのではないかと。 **答** 心の病を抱える子どもについては、全教職員が適切な対応ができるよう各学校で毎月開いている、いじめ・不登校対策委員会や情報共有に努め、適宜スクールカウンセラーにも参加してもらい、助言を得ている。

**問** さらに、心の病を理解するため、スクールカウンセラーを講師とした研修も実施している。 **答** スクールカウンセラーの配置状況はどうなっているのか。

**問** スクールカウンセラーの増員や日数をふやす必要性についてどのように考えているか。 **答** 学校での相談活動はスクールカウンセラーだけではなく、担任や養護教諭、生徒指導主事心の教室相談員が1つのチームとंगाって対応し、チーム内の誰もが相談に当たることができるような体制の構築に努めている。

**新井 健治 議員** (主な答弁者：長寿保険部長) **要介護軽度者（要介護2以下）の切り捨てを許さず国に提言を―国の諮問機関である社会保障審議会での議論を注視していく―**

**問** 平成29年4月から介護予防通所・訪問介護など、要支援1・2の方が利用するサードサービスの一部が、市の実施する総合事業に移行される。要支援1・2の方が従前のサードサービスを利用できなくなるのではないかと危惧しているがどうか。 **答** 平成29年3月末時点で要支援1・2の認定を受けている方は、認定有効期限までは、これまで同様サードサービスを利用することができ。また、有効期限後も総合事業による同様のサービスを利用することができる。

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**野村 武文 議員** (主な答弁者：市民活動部長) **収蔵保存機能を第一に考えた歴史博物館の建設を―歴史に興味を持つ機能を併せ持つ博物館を目指していく―**

**問** 現在計画中の歴史博物館の魅力づくりというものをどのように考えているか。 **答** 多くの方に歴史に興味を持ってもらい、何度も訪れてもらえる施設とするため、さまざまな体験ができるようにするとともに、各世代をターゲットとした企画やイベントを数多く実施していく予定である。また、文化庁から公開承認施設の承認を得て、国宝や重要文化財を展示するなど、幅を広げた魅力ある企画展を行っていく。

**問** 文明と文化の殿堂として

**公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状を出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なもの左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。**

**市議会議員一同**

本人が出席しない場合の結婚祝	お祭りへの寄附や参入	病氣見舞
お盆	葬式の花輪、供花	本人が出席しない場合の葬式の香典
町内会の集会や旅行などの寄附や参入	お中元 お歳暮	入学祝 卒業祝

